



2019 - 2020

International Exchange Guide

海外研修・国際専門研修・国際実習

聖隷クリストファー大学

海外研修

詳しくはHPにてご覧下さい ▶



シンガポール

看リ社 対象：全学年

ナンヤン理工学院 (NYP) ※交流協定締結校/9日間(9月) 約12万円

研修先のナンヤン理工学院は、1992年に設立されたシンガポールを代表する国立専門職養成高等教育機関です。シンガポール政府との連携により、ヘルスケア専門職養成における中心的な役割を担っており、大規模キャンパスでは約15,000名の学生が最先端の教育施設で学んでいます。



中国

看リ社 対象：全学年

陸軍軍医大学 (AMU) ※交流協定締結校/9日間(3月) 約17万円

研修先の陸軍軍医大学(中国重慶市)は、1954年創立の国立基幹大学であり、医学の他に教育学、理学、工学、戦略管理の専門分野を提供しています。また、研修病院でもある3つの附属病院を擁し、総病床数は5,000床にもおよびます。



オーストラリア

看リ社 対象：全学年

イーデス・コーワン大学 (ECU) ※交流協定締結校/10日間(3月) 約26万円

研修先のイーデス・コーワン大学は、産学共同で開発した教育プログラムによりフィールドワーク実習、ネットワーキングの機会が多く、オーストラリア国内ランキングの「教育の質」では過去8年間にわたり5つ星評価を得ています。パース市街地の北部ジュングロップキャンパスには西オーストラリア州で最大の看護学部があります。



日程		スケジュール例(2019.2.6~2.14海外研修(オーストラリア))	
		AM	PM
1	水		東京国際空港発
2	木	パース空港着 ⇒ ECU 寮へ移動	歓迎昼食会、オリエンテーション
3	金	英語学習	
4	土	フリータイム	
5	日	Caversham Wildlife Park見学	
6	月	英語学習	講義「ECU看護・助産学部の紹介」、キャンパスツアー
7	火	講義「オーストラリアの医療制度」、施設見学「Bethanie Aged Care(高齢者施設)」	講義「オーストラリアの健康増進政策」、講義「オーストラリアの社会制度」
8	水	講義「Exercise is medicine」、キャンパスツアー	お別れパーティー、修了書授与、パース空港発
9	木	中部国際空港着	

国際専門研修

詳しくはHPにてご覧下さい ▶



アメリカ看護研修

👁️ 対象：2.3年

サムエルメリット大学 (SMU) ※交流協定締結校/11日間 (3月) 約32万円

研修先のサムエルメリット大学はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ郊外にある保健医療系の学部・大学院をもつ大学です。人口200万人を擁す北カリフォルニア地域最大の高度医療専門病院と連携し、米国西海岸を代表するヘルスサイエンス系大学として地域保健医療のリーダー的役割を担っています。



アメリカ言語聴覚学研修

👂 対象：1～3年

ハワイ大学マノア校 (UHManoa) ※交流協定締結校/10日間 (3月) 約35万円

研修先となるハワイ大学マノア校のジョンAバーンズ医学部内のCommunication Sciences and Disordersは、4年制大学卒業後、2年間でASHA (American Speech and Hearing Association)の受験資格を取得する修士課程です。このコースでは、1学年10～15名と少人数で密度の高い教育がなされています。



シンガポールリハビリテーション研修

👂 対象：2～4年

シンガポール工科大学 (SIT) ※交流協定締結校/9日間 (8月) 約16万円

研修先のシンガポール工科大学ヘルスソーシャルサイエンス学部には、本学と共通する理学療法学専攻、作業療法学専攻、看護学専攻が置かれています。大学と産業界との連携を最大限に引き出すためIntegrated Work Study Programme (IWSP)と称する体験実習を取り入れており、大学、産業、地域を統合する、経済成長分野を対象とした応用学位プログラムを提供しているのが特徴です。



日程		スケジュール例 (2019.8.17～8.25シンガポールリハビリテーション研修)	
		AM	PM
1	土	中部国際空港発	チャンギ国際空港着 ⇒ ホストファミリー宅へ移動
2	日	ホストファミリーと過ごす	
3	月	オリエンテーション、キャンパスツアー、講義「シンガポールの医療制度」、歓迎昼食会、学生交流会	
4	火	施設見学:Ng Teng Fong General Hospital (総合病院)	施設見学:Institute of Mental Health (精神保健施設)
5	水	施設見学:Kwong Wai Shiu Hospital (地域病院)	施設見学:Singapore Sports Institute (スポーツ施設)
6	木	講義「シンガポールの健康増進政策」	プレゼンテーション (学びのまとめ)
7	金	施設見学:SPD (障がい者リハビリテーション・就労支援施設)	施設見学:SG Enabling Village (障がい者就労支援施設)
8	土	国立博物館見学	フリータイム
9	日	チャンギ国際空港発 ⇒ 中部国際空港着	

国際実習

詳しくはHPにてご覧下さい ▶



国際看護実習

看 対象：4年

シンガポール・ナンヤン理工学院 (NYP) ※交流協定締結校/2週間 (9月) 約18万円

シンガポールは国の一大産業として医療整備を図っています。病院実習の受入れ先は、国内2番目の規模を誇り、27の診療科と1,500床を有するタントクセン病院等です。2週間の実習のプログラムでは病院実習のほか、訪問看護や看護師と共に地域の小中学校へ出向く地域保健活動等も含まれます。異文化における実習体験を通して、さらなる看護の魅力を発見します。



国際福祉実習

社 対象：2～4年

インド：聖隷希望の家 / 2週間 約16万円
ブラジル：希望の家 / 2週間 約19万円

国際福祉実習は、社会福祉学部の選択科目であり、国際社会に貢献できる人材を養成するためのプログラムです。実際にアジアをはじめとする海外へ出掛け、その国の様々な社会福祉事情や文化を体験することで価値観の多様性や異文化を受容することを学び、国際的な視野を養うことを目的としています。



国際作業療法実習

U 対象：2,3年

タイ・チェンマイ大学 (CMU) /2週間 (2～3月) 約12万円

タイに2週間滞在し、人々の生活に触れながら人々の作業を理解します。地域で生活する人々を援助するために作業療法士は何をするのか、できるのかを、学びながら経験します。人々の生活と経験を理解するために、医学モデル中心の病院のほか、小児施設や訪問リハビリテーション施設でも実習を行います。また、より良い生活と人生を送れるように援助をし、地域に根ざした作業療法を実践している人達の働きを学びます。

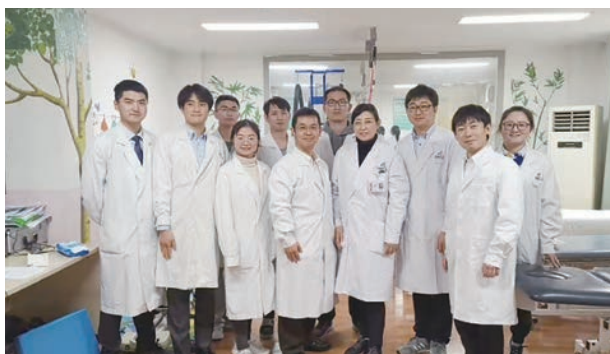


国際理学療法実習

U 対象：3年

中国・陸軍軍医大学 (AMU)、中山大学 (SYSU) ※交流協定締結校/2週間 (2～3月) 約18万円

異なる文化に触れ、生活習慣の異なる地域を訪れるだけでなく、リハビリテーション機関及び専門施設において、本学教員(引率教員)の指導によるクリニカルクラークシップ (CCS)での実習を行い、当該地域における理学療法技術を体験し、習得することを目的とします。合わせて、異なる文化圏の医療について理解を深めます。実習を通し、その国の患者さんや医療従事者と触れ合うことで、海外の理学療法士の役割や活動内容、リハビリテーション医療について考える機会になります。



研修生・実習生の受入れ

詳しくはHPにてご覧下さい ▶



サムエルメリット大学研修生受入れ



サムエルメリット大学とは2013年11月に大学間交流協定を締結し、2015年6月より、毎年看護学部の研修生を10名程受入れています。

プログラムでは、学内施設や聖隷グループの保健医療福祉施設の見学、講義の聴講や演習への参加を通して日本の看護について学びを深めます。他にも本学学生との交流会や大学のスクールバスを利用した市内観光、サムエルメリット大学の学生と一緒に受けることのできる講義・演習などのプログラムがあります。

ナンヤン理工学院研修生・実習生受入れ



ナンヤン理工学院からは、2006年4月の交流協定締結後、ヘルス&ソーシャルサイエンス学部より毎年20名程の研修生を1週間受入れています。また、実習生として4週間看護学科の学生を2名受入れています。

各プログラムでは、日本のヘルスケアに関する講義の聴講・演習、聖隷関連の病院・施設の見学を通して日本の保健医療福祉について学びます。また、市内観光、学生交流会、茶道部主催の茶道体験、ワークショップなど、本学学生がナンヤン理工学院の学生と共に学び、楽しめるプログラムが用意されています。

シンガポール工科大学研修生受入れ



シンガポール工科大学とは2017年9月に交流協定を締結し、2018年より毎年ヘルス&ソーシャルサイエンス学部理学療法学科・作業療法学科の研修生を20名程受入れています。

近隣の聖隷グループ病院・施設の見学を始めとして、シンガポールと日本の理学療法・作業療法をテーマとしたディスカッション、ワークショップ、授業参加など、体験学習を重視したプログラムとなっています。本学学生も市内観光、学生交流会も含めて、シンガポール工科大学の学生と一緒に体験して学べる機会となっています。

チェンマイ大学研修生受入れ



チェンマイ大学の医療科学研究科作業療法学修士課程の学生が、2018年12月に初めて本学を拠点とする1週間の研修プログラムに参加しました。プログラム中は、浜松市内の病院やリハビリテーション関連施設の見学や本学教員による講義に参加し、日本の作業療法について学びました。また、本学学生との交流会やワークショップが盛んに行われ、言葉の壁がある中でも工夫しながらコミュニケーションを取り、交流することの楽しさを実感していました。チェンマイ大学は2018年度より国際作業療法実習の実習地にもなっています。

学長メッセージ



世界の隣人に尽くす 「現代のクリストファー」へ

学長 大城 昌平

本学の学位授与方針の1つに、国際人の育成を掲げ、保健医療福祉の先端大学として、アジアを中心とした保健医療福祉の発展途上にある国々と人々と共に、積極的に国際貢献していくことを目指しています。皆さんには、隣人愛の精神と保健医療福祉の知と技で、この地域と世界の人々の健康と福祉に貢献し得る「現代のクリストファー」に成長していただきたいと願います。

グローバル化と多様性の時代を生きる皆さんは、世界への志向性と行動力、多様な文化や価値観に対する理解と共感、語学力と表現力を身につけることが必要です。本学は、中国・インド・シンガポール・タイ・オーストラリア・アメリカ・ブラジルの多くの教育機関や施設等と交流協定を締結し、多数の研修・実習の派遣・受入プログラムや留学生の受け入れ体制を整備しています。皆さんが、これらのプログラムを積極的に活用して、世界の人々と交流し、諸国の文化や保健医療福祉を学び、世界の隣人に尽くす専門職者に育つことを期待いたします。

世界に夢の翼を広げよう! Spread your wings of dreams to the world!

学内プログラム

▶ 国際交流イベント

学生の国際感覚を磨き、視野を広げる経験になるように、様々な国際交流イベントを開催しています。イベントの情報は、グローバル教育推進センターホームページや学内掲示板にてお知らせします。



▶ 研修生・実習生との交流会

多くの学生が参加をして、海外からの学生を温かく迎えています。ゲームやダンスなどで大いに盛り上がり、異文化交流の楽しさを肌で感じることができます。



国際支援

アクティブラーニング

グローバルに活躍できる人材の育成を目的として、2019年度より「国際支援入門」、2020年度より「国際支援アクティブラーニングI(国内)・II(海外)」の共通科目を開講します。

この科目では、全学部の学生が、本学で学んだ保健医療福祉教育の専門性を活かして国内や海外(カンボジア・ベトナム・アメリカ)で国際支援に参加します。主体的に協働活動を行うことによって専門職としての国際活動について学修します。



保健医療福祉の総合大学

聖隷クリストファー大学

お問い合わせは[グローバル教育推進センター]へ

TEL **053-439-3263**

ホームページ <https://www.seirei.ac.jp/iess/index.php>

